

## 令和2年度 事業所職員向け 事業所評価の集計結果

事業所名：グレース Colors

		チェック項目	はい	どちらとも	いいえ	工夫している点等	課題・改善点を踏まえた 改善内容・改善目 標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7			・コロナ対応で、1階2階を利用し、広く使用している。	・体を動かして遊ぶ際は狭いと思う。部屋を広げることのできないので公園など利用することを検討する必要がある。
	②	職員の配置数は適切であるか	7			・利用児の支援内容によって1対1で支援できるような体制を取っている。 ・基準以上の配置をしている。	・必要な支援ができるように、現状の職員配置を維持していく。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	4		・現状すぐに整備するのは難しいが、階段の上り下りは職員が付き添う等対応をしている。	・コロナ対応で急遽2階を使用している関係で、バリアフリーが不十分な所がある。順次整備の必要がある。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	7			・朝礼、終礼を利用し周知、考案を行っている。	
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	7				・改善がすぐに出来るものに関してはすぐに対応をしている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	7				・ホームページに公開している。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		4	3		・第三者による評価は受けていないが、今後検討の必要はある。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	7			・外部研修をした際は、参加した職員が講師となり、全スタッフに職場内研修を行っている。	
適切な支	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	7				

⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	2			・標準化されていないので、標準化していく必要があるものに関しては作成、使用していく。
⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	7			・チームではないが職員全員で会議を行っている	
⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	7				
⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題を決め細やかに設定して支援しているか	4	1	2		・変化を嫌がる利用児が多いため敢えて変更はしていない。ただ、利用児の必要性に合わせて設定していく。
⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	7			・日々の支援で見えてきた課題に対し、固定することなく支援を行っている。	
⑮	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	7			・朝礼にて引継ぎ、本日の支援内容、留意点等必ず確認をしている。	
⑯	支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	7			・終礼にて引継ぎ等を行っている。	・終礼時に出た課題に関して、翌利用日に改善できるよう仕組みづくりが必要。
⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	7			・日報と、個々のケース記録を毎日確認している。	・正しく書けているかのチェックは勿論、定期的に記録の書き方の研修を行っている。
⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	6	1		・目標が達成した場合、目標設定が高かった場合等、見直しを行い訂正をしている。	
⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	7				

関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携

⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者参画しているか	7				
㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切におこなっているか	7			・毎年1回は学校に出向きコーディネーターの先生や担任の先生からヒアリングしている。	・担任の先生によっては連携を取ることを好まない方もいるのでその辺りが課題だ。
㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医東都連絡体制を整えているか	7			・医師との連携は取れる体制にある。	・医療的ケアが必要な利用児の受け入れが現時点でない。
㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	7				・就学前の利用児を受け入れた際には実施していく。
㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		5	2		・進学した利用児はいるが、障害福祉に進む利用児がいなかった。ただ、提示できるように利用児の情報はまとめている。
㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	1	2	4		
㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		2	5		・保護者様が関りを必要と考えている方が少ないので現時点で行っていない。
㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	7				・児発管、管理者が参加している。
㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	6	1			・日々の連絡の中に、ご様子、最近の課題等お伝えし、お知らせを頂いている。

	②9	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレントトレーニング等の支援を行っているか	6	1			・必要だと思われるご家庭には行っている。
保護者への説明責任等	③0	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	7				・入所の際、細かく説明をし、年に1度まとめたものを配布している。
	③1	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7				
	③2	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		3	4		・保護者様同士の関りを必要としていない。 ・他者に知られたくないと思っている方が多くいらっしゃる。
	③3	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	7				・今年度も苦情を頂くことがなかった。今後も保護者様の声に寄りそえる支援を行っていきたい。
	③4	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	5	2		・毎月お知らせを発行している。	
	③5	個人情報に十分注意しているか	7				・何かに使用する際、掲示する際等 都度保護者様に許可を得てから行っている。
	③6	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	7				
	③7	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	6		1		・大きくは行っていないが、年間を通して地域の方と畑仕事等行っている。 ・今年はコロナの影響で実施できなかった。
非常時等	③8	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対策マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	7				・年に1回、保護者様向けのマニュアル一覧を配布している。

③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	7				・職員間の避難訓練に特に力を入れている。
④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	7				・研修、アンケートを行う等して、意識向上に努めている。
④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	7				・身体拘束が必要な利用者様はいない。
④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、意思の指示書に基づく対応がされているか		5	2		・食事の提供をしていない。
④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		5	2		・朝礼、終礼時にでた内容に対し、すぐに対応対策を講じるようにしている。